入院診療計画書

やわたメディカルセンター

入院日：　　年　　月　　日　　病棟：　　号室　　西暦　　年　　月　　日

病名・症状：　　パス名：ARCR　　担当医：　　印　看護師：

担当看護師：　　担当薬剤師：　　担当栄養士：　　西暦　　年　　月　　日

総合的機能評価：　　患者様・ご家族様サイン

期間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
経過		入院～手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後 1 日	術後 2 日	術後 3 日	術後 4 日	術後 5 日	術後 6 日	術後7日目	術後3週　退院	
運成目標	P	●手術の準備が整う。 ●手術に対する理解ができる。	●安静度が守られる。 ●痛みのコントロールができる。 ●麻酔・手術侵襲からの回復ができる。	●痛みのコントロールができる。 ●術後合併症、創感染を起こさず経過できる。 ●術後スリングの固定期間が理解できる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。	●痛みのコントロールができる。 ●術後の合併症、創感染を起こさず経過できる。 ●術後スリングの固定期間が理解できる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。	●痛みのコントロールができる。 ●術後合併症、創感染を起こさず経過できる。 ●術後スリングの固定期間が理解できる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。	●痛みのコントロールができる。 ●術後合併症、創感染を起こさず経過できる。 ●術後スリングの固定期間が理解できる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。	●痛みのコントロールができる。 ●術後合併症、創感染を起こさず経過できる。 ●術後スリングの固定期間が理解できる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。	●痛みのコントロールができる。 ●術後の合併症、創感染を起こさず経過できる。 ●術後スリングの固定期間が理解できる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。	●痛みのコントロールができる。 ●術後の合併症、創感染を起こさず経過できる。 ●術後スリングの固定期間が理解できる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。	●痛みのコントロールができる。 ●一人で、もしくは家族介助のもと着替えや入浴（シャワー浴）が行える。 ●退院後の注意事項を理解し退院できる。	
退院基準	P	●手術後、スリング固定期間が終了したら退院となり、外来でのリハビリテーションへ移行します。 ・⇒日常生活プログラム表を参照ください。 ●退院時間は、9：30までにお願いしております。									●手術後、スリング固定期間が終了したら退院可能となり、外来でのリハビリテーションへ移行します。 ・⇒日常生活プログラム表を参照ください。 ●退院時間は、9：30までにお願いしております。	
活動・安静	P	・病院内での活動は自由です。	・ベッド上安静です。 ・ベッドは30度まで挙げることができます。 	・スリングを装着した状態で歩行ができます。 ●手術した肩を自分で動かすことはできません。（肘部から手指にかけては、動かしてもよいです） ・手術した方の腕が、利き手の場合でも、利き手を使用しての食事・洗面・歯磨きは行ってもよいです。								
栄養（食事）・排泄・清潔	P	●手術前日の21時から食事は食べられません。アメ、ガムも食べられません。水、お茶、スポーツドリンクのみ飲めます。 ●手術が午前の場合、6時から飲むことができません。午後からの場合は8時まで水分を摂ることができます。 ●内服薬がある場合は6時に少量の水で内服します ・手足の爪切りをお願いします。 ●特別な栄養管理の必要性 【　有　・　無　】 	・手術室で尿の管が入ります。 ●手術終了6時間後から水分を摂ることができます。（飲水前にお腹の動きを確認します） 	・朝食から食事開始となります。 ・手術した側が、利き手の場合は、フォーク食を準備します。 ・尿の管を抜き、トイレに行けます。 ・傷口がフィルム保護になれば、シャワーができます。（パンフレットに基づいて、肩の安静を保ちながら、自立にむけて練習します。） 	・食事摂取状況に応じて形態を検討していきます。 	・栄養指導があります。（BMI25以上の場合、特別治療食を必要とする場合）				●術後7日目でフイルムを除去するまではシャワー浴のみ、フイルム除去後から入浴できます。 ●スリング固定中はペットボトルを使用しての入浴となります。ADLパンフレットに従って行ってください。 	
治療・処置・検査・説明・指導	P	★手術予定時刻 時頃 ・パンフレットを使用し術後生活動作についての説明があります。 ・スリング（抱き枕）を合わせます。 ・お化粧・ﾏﾆｷｭｱ、ﾍﾟﾃﾞｨｷｭｱをされている方は落として下さい。 ・口の周りの髭は全て剃ってください。 ・上の下着は着用せずに手術衣に着替えます。左手から点滴を行ないます。 【▼注意！】 ・直前までに、指輪、ネックレス等の装飾品や、眼鏡、コンタクト、ヘアピン、入れ歯は外してください。	・手術後は下肢の血流を良くするために、足をマッサージする機械を装着します。 ・術後の痛みを和らげるために関節内に麻酔薬を注入してから帰室します。 ・帰室時より酸素マスク・心電図モニターをつけます。主治医の指示に従い外します。 ●手術後のスリング固定は3週間（変更となる場合もあり）です。 ・傷や肩の痛みが強い時は、内服薬以外に鎮痛剤を使用することができますので、我慢せずにお伝えください。	・傷口のガーゼを交換します。 ・食事開始時より痛み止めの内服を服用します。 ●術後スリング固定の期間や固定中の過ごし方について説明します。		・家族と共に生活指導を行います。	=========	=========	========>	●抜糸します。埋没縫合の場合、抜糸はありません。フイルムを除去して、傷口の状態を確認します。 	・退院後の生活についてご説明します。	
理学療法	P	・深部静脈血栓症予防の運動指導を行います。	・手術した方の肘から手指にかけての運動を行います。 ・術側上肢の適切な姿勢やスリングの確認を行います。 ・自主運動指導を行います。	・手術した方の肘から手指にかけての運動を行います。 ・自主運動を指導します。	・理学療法士により、手術した肩の運動を開始します。自分で肩を動かさないでください。					●外来でのリハビリテーションへ移行します。 ●術後5週目より自分で肩を動かす運動を始めます。	●外来でのリハビリテーションへ移行します。 ●術後5週目より自分で肩を動かす運動を始めます。	